

第5回 市町村保健活動の再構築に関する検討会

日 時 : 平成19年1月24日(水)

13:30~15:30

場 所 : 共用第7会議室

次 第

○ 議題

- 1 NPO、民間事業者等と市町村の連携・協働の在り方について
- 2 地域住民と市町村の連携・協働の在り方について

○ 検討会資料

- 資料1 NPOと市町村の連携・協働の在り方について(金沢大学大学院教授、特定非営利活動法人NPO研修・情報センター代表理事世古氏作成資料)
- 資料2 地域住民と市町村の連携・協働の在り方について(坂戸市立市民健康センター有田氏作成資料)

資料 1

NPOと市町村の連携・協働の在り方について

(金沢大学大学院教授、特定非営利活動法人NPO研修・情報センター代表理事 世古氏作成資料)

市民、NPO、行政、企業の協働の時代

特定非営利活動法人 NPO研修・情報センター
代表理事 世古一穂

1. はじめに

自己紹介

NPOを支援するNPO：特定非営利活動法人 NPO研修・情報センター
「分野、領域、テーマ、セクター、国家を超えたネットワーキングを実現
できる人材養成をミッションとするインターメディアリーNPO」

2. NPOとは

NPOの超訳：NEW PUBLIC ORGANIZATION

日本の社会構造

日本の市民社会の現状・・・民間非営利組織セクターの諸概念の整理
NPOとボランティアの違い

3. NPO法人の現在

- ・ 認証法人数
- ・ 毎月 450 から 500 法人ずつ増加
- ・ 認証率は 99.6%。特定非営利活動促進法（通称NPO法）の趣旨である簡易な法人化という目的は達成。
- ・ 法人化したNPOの3分の2は、NPO法施行後に新規に設立された団体。
- ・ NPO法ができたことにより新規参入を促進。
- ・ 自治体のNPO法人への委託事業の急速な増加。行政とNPOの協働やパートナーシップが大きなテーマに。
- ・ NPOの税制支援制度（寄附税制の優遇制度）＝認定NPO法人制度も実施。

4. 「新しい公共」の概念

行政や企業セクターとNPOセクターの守備範囲の設定とその特性をいかした役割分担の必要性

営利と非営利

分権の担い手は地方自治体とNPO

5. NPO法人制度の課題

① 制度と財源

- ・ 認定NPO法人制度はできたが認定数は40（国税庁発表 平成18年5月1日現在認定の有効期間内にある法人）。2003年4月に認定要件の緩和措置がされたが効果はほとんどない状況。
- ・ 公益法人制度改革の流れでNPO法人が公益法人に一本化される可能性？

② 信頼性の問題

- ・ 暴力団、詐欺的商法、営利企業の販売促進に利用される例がでてきてNPO法人の見分け方や信頼性確保が問われる状況も。

③ セクターとしての役割の問題

- ・ 商取引の活動に積極的になるほど企業との線引きがあいまいになるという問題。
- ・ 非営利にポイントをおくのか、市民活動にポイントをおくのか

- ・ 行政のNPO法人への委託事業に頼るNPOが増加し、NPOが行政のサブシステム化することによって（安上がりの下請け化）NPOの独立性が問われる状況。

6. 「新しい公共」を創り出す市民・行政・企業・NPOのパートナーシップ

「市民参加」から「協働」へ・・・その概念の違い

- ① 「参加のデザイン」とは
 - ・ 「参加構成」デザイン
 - ・ 「参加のプロセス」デザイン
 - ・ 「参加のプログラム」デザイン
- ② 「協働のデザイン」とは
パートナーシップの7つの条件
癒着や下請けと協働の違いは？

7. NPOをめぐる日本の現状と課題

(1) NPOと行政、企業の関係～協働の3つの潮流

- ① 支援・育成型
- ② 委託事業推進型
- ③ 分権・行政改革型

(2) NPOと企業の関係

- ① 資金提供者からパートナーとしての多様な関係づくり
- ② 企業内起業の可能性としてのNPO
- ③ 人材の社内外での活用と貢献

(3) 企業、行政とNPOの協働実現にむけて

- ① なぜ「協働」が必要なのか、「協働」でなければ解決しない課題なのか、「協働」のための「協働」になっていないかの問い直しの必要
- ② NPOの先駆性、多様性、多元性等その正しい理解に基づく「協働」の方針を定める必要
- ③ 守備範囲と領域設定、役割分担にもとづく「協働」関係の整理の必要
- ④ 協働のルールづくりの必要
- ⑤ 公正に競争できる社会条件整備の必要・・・規制緩和、税制改革

8. 「協働コーディネーター」の必要性

協働コーディネーターとは・・・新しい職能の社会化

人材養成とその体系：NPO研修・情報センターでの研修プログラムとその成果
「初級クラス」「中級クラス」「上級クラス」「フェローシップ」

9. NPO実践事例・・・コミュニティ・レストラン

コミュニティ・ビジネス、地域雇用の場づくりとしてのNPO、NGOの起業

(1) 地域で

- ・ 出口の見える学習
- ・ 女性の働く場づくり、障害者の雇用、不登校の子どもたちの出口づくりの場としてのコミュニティ・レストランの取組み
- ・ 循環型社会形成にむけての「エコ・コミレス」のとりくみ

(2) 政策として

- ・ 思いを形に変えるNPOの役割と課題を社会化する必要
- ・ コミュニティ・ビジネスとしてのNPOを起業しやすい社会環境整備

10. まとめ

ふりかえりシート

氏名 _____ 所属 _____ (必ずご記入ください)

年 月 日

※E-mailのアドレスをご記入の方には、メールマガジン「NPO協働 e-news」(月刊、テキスト形式、無料)をお送りいたします。

■本日の研修会に参加して

・私が学んだことは

・私が気づいたことは

・私が面白いと思ったことは

・私が実行しようと思ったことは

■その他、質問、感想、ご意見などありましたら書いてください

※特定非営利活動法人NPO研修・情報センターよりの案内を希望される方は、連絡先の住所等を必ずご記入ください。

氏名 _____

連絡先 (いずれかに○を 自宅・所属団体) 所属団体名: _____

〒 _____

TEL _____ FAX _____

E-mail _____

※賛助会員またはMM(購読メンバー)にお申込みご希望の方は○をお付けください。

① () 賛助会員に申し込みたい

② () MM(購読メンバー)に申し込みたい

資料 2

地域住民と市町村の連携・協働の在り方
について

(坂戸市立市民健康センター有田氏作
成資料)

住民と協働で進める健康づくり
「あなたの出番！
おいでおいで健康づくり計画」の推進



埼玉県から見た坂戸市の位置



坂戸市

住民基本台帳人口

100,047人

(平成18年12月1日現在)

坂戸市ってどんなところ？ (平成18年12月1日現在)

- 人口:100,047人
- 世帯数は:40,010世帯
- 面積は:40.97km²
- 人口動態:出生815人・死亡635人、
転入5,229人・転出5,074人
- 年間予算:234億円(H18年度当初予算)

健康日本21 坂戸市計画を 作ることになったきっかけ

- ・ 国、県や他の自治体で計画づくりが進む。
(やばい乗り遅れるかも...)
- ・ 市民の思いが健康づくりに生かされているかなあ？(自分たちの仕事が生かされているかなあ？)



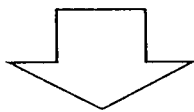
当たり前なことなんだけど、なかなかできていない



平成14年度にセンター内職員で話し合いや視察・研修

市民と一緒に作ろう！

- ・ 計画づくりを一緒にしてくれる市民を公募する
- ・ お金がないので、無報酬(心意気)
- ・ 市民23名(途中1名脱会)から応募があった



期待と不安

さて、どんな取り組みになるか...

あなたの出番！ おいでおいで健康づくり計画

元気な1年目～

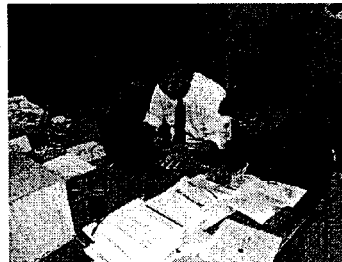


「ワークショップ」
って店の名前では
なかったのですネ

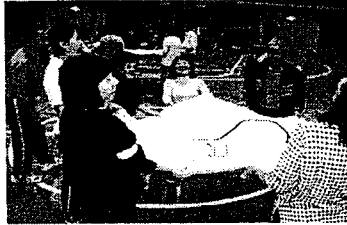
健康に関する調査
(市民実態調査)の
回答結果入力作業



メンバーが出した言葉をトランプ方式
で整理⇒皆で夢を共有



こんな活動もしました

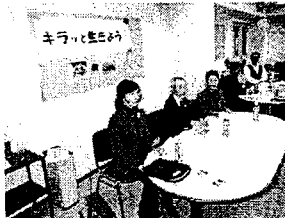


女子栄養大学で運動と食事を楽しむ(いい汗かいて楽しい食事♪)



市役所ホールでPR活動

地域の公民館・イベントなどで健康づくりをPR



メンバーの発表で1泊合宿
川市健康づくり市民会議と交
流(H16.2.28～29)



他の自治体職員と意見交換
(H16.3.19)
埼玉県主催の健康福祉研究発表会



ちょっとした
宴会も

坂戸市のめざす 健康なまちの姿

- ①心と身体のバランスがとれていること
- ②家族や仲間が一緒
- ③自分らしく
- ④食事は、かしこく・おいしく・楽しく
- ⑤爽快な目覚め
- ⑥心の彩り
- ⑦出会い・ふれあい・人とのつながり
- ⑧生き生きチャレンジ
- ⑨早期発見・早期治療

あなたの出番！ おいでおいで健康づくり計画



～2年目～

～楽しく、できることから、
さあ健康づくりをはじめよう！～

市民みんなの健康づくりサポーター（応援団）

元気にし隊（げんきにしたい）

市民ボランティア



あなたの出番！ おいでおいで健康づくり計画



～2年目～

平成16年度 第1次行動計画

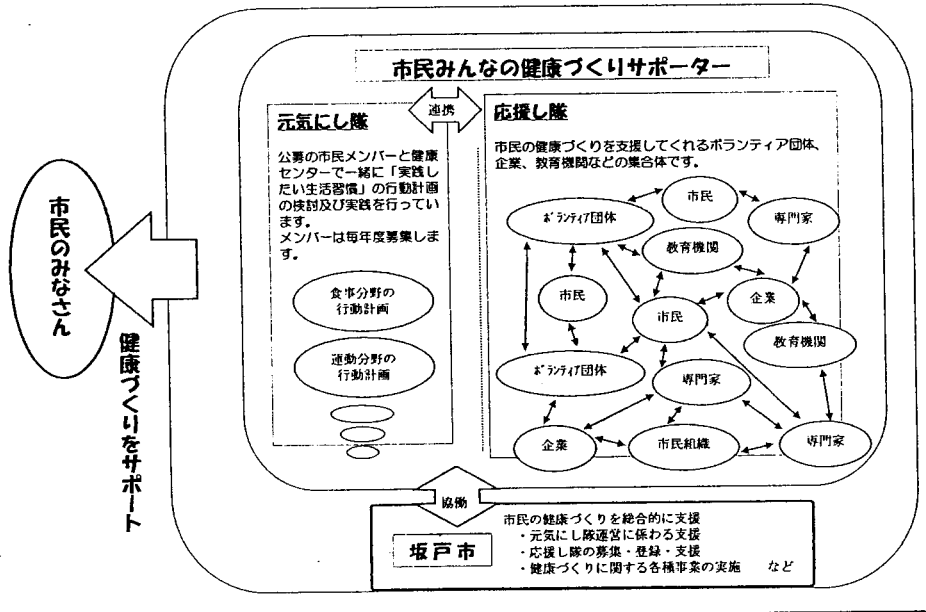
- ・ 応援し隊の募集
- ・ おすすめ一品料理の募集
- ・ 楽しくからだを動かしたく標語の募集
- ・ 健康づくりシンポジウムの開催
- ・ キラッと光る元気な人の発掘
- ・ 健康づくりマスコットキャラクターの募集
- ・ 健康づくりPR用リーフレットの作成

応援し隊とは？

- 「あなたの出番！おいでおいで健康づくり計画」の趣旨に賛同し、計画の推進のために市民の健康づくりを様々な角度から応援してくれる方の集合体のことです。団体、個人等の形態は問わず誰でも登録できます。
- 現在、ボランティア団体、大学、企業等23団体が登録。今後も健康づくりの応援団の輪を広げていきます。



市民みんなの健康づくりサポーターイメージ図



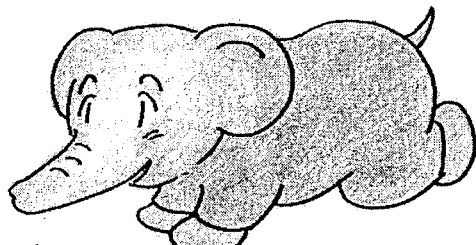
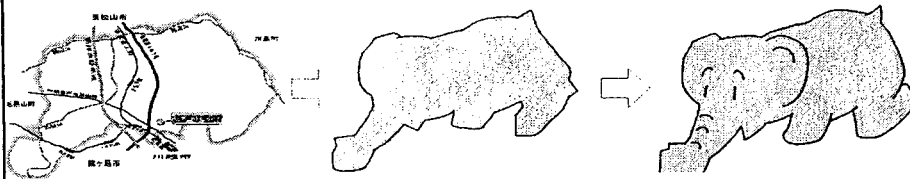
僕の私のおすすめ一品料理をおしえちゃおう ～おすすめ一品料理の募集～

- 若年層の「食事」に対する関心を高めるためにおすすめ一品料理を募集
- 応募総数50品。小学生から70代の方まで幅広い世代の応募がありました。
- 応募作品のレシピ集を作成し、健康パークで小学生の応募作品を表彰しました。
- 応募作品の中から、一部保育園、学校給食の献立に導入されました。

どれもおいしい！
賞を決めるのは
難しいな～

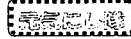


坂戸市の形から生まれたやるどうくんです！



健康づくりマスコットキャラクター
「やるどうくん」誕生！

あなたの出番！ おいでおいで健康づくり計画



～2年目～

健康づくりシンポジウム (H17.3.27)

「おいでおいで健康パーク」を開催しました！



みんなで楽しむ運動コーナー



応募レシポひとくち試食会



健康づくりキャンペーン表彰式



健康づくりシンポジウム
健康づくりでキラッと光る人紹介

なんと来場者約400人！

あなたの出番！ おいでおいで健康づくり計画



～3年目～

平成17年度 第2次行動計画

- ・ 応援し隊との連携
- ・ 健康づくりマスコットキャラクターの活用
- ・ あいさつしよう運動標語募集
- ・ ほっとハートプラン集の検討
- ・ 健康ナビ(食事と運動の体験講座)の実施
- ・ 健康づくりPR用リーフレットの作成
- ・ 第2回健康パークの開催

平成18年度 第3次行動計画

- ・ サポーター・リーダー養成講座の開催
- ・ 運動レシピの作成
- ・ 第2回健康ナビ(食と運動の体験講座)の実施(地区の住民が企画から参加)
- ・ 心の健康PR用ティッシュの配布
- ・ 第3回健康パークの開催

など

まとめ

- ・ 市民の底力を感じた
- ・ 健康観の共有(市民も職員も)
- ・ 会議の時間帯
- ・ 意見を言える関係
 - 人の意見は最後まで聞く
 - 人の意見を否定しない
 - 会議では一度は必ず発言する
- ・ 職員のやる気と上司の理解
- ・ 「楽しく」がキーワード